

しめっ ちっうしん

石狩川流域湿地・水辺・海岸・ネットワーク

第一号 発行日：2017. 12. 31

製作者：倉内 渚



しめっちネット設立目的

かつて石狩川流域に広がっていた広大な湿原は農地開発やインフラ整備によってほとんどが失われ、それとともに豊かな自然環境や生活文化も姿を消しました。現在残されたわずかな湿地などの環境は、各地域の市民団体などが保全・利活用の活動を進めていますが、常に失われる危機に面しています。そこでたくさんの人に湿地の魅力と価値と現状を伝えるため、各地の団体がつながって力を集め、湿地の未来を作っていこうと結成したのがこのネットワークです。

私たちは、環境の保全・再生・研究や、持続的な利活用の推進を行い、貴重な文化や自然環境を未来に残すために活動を行っています。また湿地と地域社会のパートナーシップを作り、育てることで地域の活性化と湿地・人が共生する地域社会の形成を目指しています。

湿地とは？

「ラムサール条約」における湿地の定義

「湿地とは、天然のものであるか人工のものであるか、永続的なものであるか一時的なものであるかを問わず、更には水が滞っているか流れているか、淡水であるか汽水であるか鹹水（塩水）であるかを問わず、沼沢地、湿原、泥炭地又は水域をいい、低潮（干潮）時における水深が６メートルを超えない海域を含む。」

石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク （しめっちネット）

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園 201号室

（NPO法人北海道NPOサポートセンター内）

TEL：011-200-0973 FAX：011-200-0974

Mail：info@ishikarigawa-net.com

WEB：<https://ishikarigawa-net.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/simecchi/>





湿地の恵みを体験する「ガマのゴザ（チタラペ）づくり」を行いました。湿地の魅力は希少な動植物

の生息場所であることだけではなく、湿地とともに暮らした人たちの文化にもあります。そんな湿地の文化に触れるために、湿地に生えるガマを活用したゴザづくり（アイヌ文化に伝わるチタラペづくり）を行いました。事前の準備として、9月30日に7名の有志で当別自然再生地にてガマの採取を行い、ビニールハウス内で乾燥させました。

ゴザづくりは、11月12日に子ども8名を含む21名の方が参加、石狩市美登位創作の家に集合し、ガマ採取地を観察に行き、会場に戻ってアイヌ文化活動アドバイザーである貝澤美和子氏、貝澤珠美氏の指導のもとゴザをつくるための編み機づくり、その後は作った編み機でゴザづくりを楽しく行いました。

かつてたくさんあったガマが群生する湿地が少なくなったことや、自然を活用していたアイヌ文化のこと、道具作りからものづくりをする楽しさを感じるWSでした。（鈴木）

チタラペづくり



▷4月2日 当ネットワークが設立
宮島沼水鳥・湿地センターにて設立
総会を開催し、設立趣意・規約・
役員・事業計画等が承認されました。

▷4月3日 北海道e-水プロジェクトからの助成決定

北海道コカ・コーラボトリング・北海道・北海道環境財団による北海道の豊かで美しい「水」と自然環境を守る活動を支援する「北海道e-水プロジェクト」の2017年度の助成先として採択されました。4月14日にキックオフミーティングに参加、11月21日には報告会とe-水フォーラムにおいて、活動報告を行いました。

▷12月20日 しめっちマスコット「編んだもんだらトーノ君」作製

皆さんに湿地に親しんでもらおうと、手元に置いてもらえるマスコットを作りました。モデルは動画の案内役のトーノ君です。宮城県の被災地で「編んだもんだら」を作っているお母さんたちにお願いしました。

収益金は石狩川流域の湿地保全・利活用の推進および東日本大震災の復興活動に使われます。（鈴木）

その他

2017.5.31	蕨岱東部泥炭採掘跡地	当別町	湿生植物の残存状況確認
2017.6.21	東野幌湿原	江別市	ヤチコタヌキモやその他動植物の現状確認
2017.6.21	越後沼	江別市	越後沼研究会の足跡を含む現状確認
2017.7.17	世田谷湿原	江別市	現状確認
2017.8.25	東野幌湿原	江別市	ヤチコタヌキモやその他動植物の現状確認

探 索 会

石狩川流域には、保護や研究の網の目から漏れている湿地が、随所にあります。これらの湿地を探索

して実態を明らかにすることは急務ですが、既存の個々の保護団体の手に余る仕事であり、当ネットワークが系統的に取り組むことが期待されてきました。

2017年度、当ネットワークは岩見沢市・当別町・江別市の合計8か所の湿地を探索しました。石狩平野では非常に報告が少なかった植物が次々と確認されるなど、それぞれの湿地で貴重な新発見がありました。

また、延べ参加者数63人のうち当ネットワーク正会員団体に所属していない方々が35人を数えたこと、7月17日の世田谷湿原(江別市)探索会の模様がNHKで放映されたことは、当ネットワークの活動が幅広い市民に知られ浸透する好機となりました。2018年度も同様の取り組みを継続し、石狩川流域の湿地データベースの構築へと繋げていきたいと考えております。

(齋藤)



人形劇(映像)

私たちはこれまでの活動で、生き物について人々に「伝える」ことに力を入れてきました。そして、

既に生き物に興味を持っている人だけを対象にするのではなく、まだそうになっていない人にも関心を持ってもらえるような啓蒙活動が必要だと考えました。そこで、エンターテインメント性のある人形劇を創ることにしました。第一回目は、外来種の存在について訴えることを目的としました。

偶然持ち込まれた外来種も、悪気のなかった人間も、できるだけ悪者にならないストーリーです。制作にあたり、世界的人形劇作家の沢則行さんや、やまびこ座館長の矢吹さんにご協力をお願いしました。アフレコは、声優の卵である専門学校札幌マンガ・アニメ学院生に依頼しました。初心者主体で進めましたが、プロの助けをお借りし、質の高い作品が出来上がったと思います。動画は、私たちのFacebookに投稿しており

YouTube (<https://youtu.be/apKWD2HyocI>) でも観ることができます。

是非ご覧ください！(寺島)



探索会詳細

2017.4.26 鏡沼

岩見沢市 ほろむい七草の有無の検証

2017.4.26 じゅんさい沼

岩見沢市 ボッグ再生地としての可能性の検証

2017.4.26 じゅんさい沼北東側防風林

岩見沢市 ボッグ植生の有無の検証

2017.5.31 石狩川下流当別自然再生地

当別町 自然再生地の現況確認